

令和6年度 飯塚市学校図書館協議会 司書部事業報告

月 日		事 業	開催場所
4	15・17～ 19・23・24	1学期団体貸出選書 主に小学校が利用。300冊を上限に飯塚市立図書館にて学期ごとに借り受ける。	飯塚市立飯塚図書館
	30	第1回理事会・司書部役員会(新旧役員会) ■新旧役員紹介・飯塚市学校図書館協議会総会打合せ・役員引継ぎ	飯塚市立小中一貫校 幸袋校
5	30	飯塚市学校図書館協議会 総会 年に一度、必ず1学期の始めに開催している。出席者は、飯塚市学校図書館協議会、飯塚市内小中学校の司書と図書館担当教諭および飯塚市役所教育総務課。	飯塚市立小中一貫校 幸袋校
		第1回司書部会 研修会 ■グループ長選出・「学校図書館運営マニュアル」の改訂について(絵本ラベルの見直し等)・司書共通確認事項について等 新規司書でもわかるように作成したマニュアルも10年以上経ち、参考資料も古くなったので、令和5年度より改訂や入替作業を進めている。	
6	17	福岡県学校図書館協議会研修会・講演会 ■講演「子どもの学力は言語能力、それを育む読書のチカラ」 ■講師・食育研究家／作家 九州大学講師 糸島市大入行政区区長 佐藤剛史 氏 希望者は、出張扱いで参加。	福岡市男女共同参画 推進センター・アミカス
	18	令和6年度読書好きを育む環境づくり応援事業(飯塚市生涯学習課より公文書にて依頼) ■家読の取組み事業	各学校
	24	第1回司書部会 役員会 ■司書部夏の研修会/その他 夏の研修会では、どの辺りまで改訂を進めるのか打合せ。	飯塚市立飯塚東小学校
7	9・10	1学期団体貸出図書返却 各学校で回収した本を飯塚市立図書館へ返却。	飯塚市立飯塚図書館
	16	市学校図書館協議会理事及び司書部会役員会 ■市学校図書館協議会 司書教諭及び図書館担当者・学校司書合同研修会打合せ	飯塚市立小中一貫校 穂波東校
	31	第2回司書部会 夏の研修会Ⅰ ■マニュアル改訂/出張報告/その他 寄附採納関係書類等の改訂及び出張報告。	飯塚市立飯塚東小学校
8	6～8	児童図書・優良図書展示会 ■主催 福岡県書店商業組合筑豊支部 希望者は、出張扱いで参加。	直方市中央公民館
	22	第3回司書部会 夏の研修会Ⅱ ■マニュアル改訂/出張報告/その他 学校図書館の活動項目について見直し及び出張報告。	飯塚市立飯塚東小学校

8	26	市学校図書館協議会 司書教諭及び図書館担当者・学校司書合同研修 ■講演「子どもの学力は言語能力、それを育む読書のチカラ」 ■講師・食育研究家／作家 九州大学講師 糸島市大入行政区区長 佐藤剛史 氏 基本的食習慣と学力の関係について講演。学力をつけるためには語彙力が必要。言語能力を発達させるには読書体験が必要。講演のあとに、学校で図書館をどのように活用しているか、学校司書と図書館担当教諭とでグループトークを展開。（研修会のため、学校司書は基本全員参加）	飯塚市穂波交流センター
9	3～6・10～13	2学期団体貸出選書 飯塚市立図書館に出向き、予約日に選書。	飯塚市立飯塚図書館
	5	読書好きを育む環境づくり応援研修会 ■「読み聞かせから一人読みへ～子どもの発達段階に応じた選書とは～」 希望者は、出張扱いで参加。	筑豊教育事務所
	20	福岡県学校図書館協議会学校司書部会総会及び合同研修会 希望者は、出張扱いで参加。	福岡市男女共同参画推進センター・アミカス
11	7	第2回司書部会 役員会 ■司書部冬の研修会/その他 マニュアル改訂作業の続き。	飯塚市立飯塚東小学校
	21・22	2学期団体貸出図書返却 各学校で回収した本を飯塚市立図書館へ返却。	飯塚市立飯塚図書館
12	5	福岡県学校図書館研究大会(京築大会) ■主題:豊かな心を育む学校図書館の創造 ■分科会テーマ:小学校における図書館運営・学び方指導・読書指導 発表:飯塚市立庄内小学校/図書館担当教諭 希望者は、出張扱いで参加。	げんきの杜
	10～13 16～18	3学期団体貸出選書 飯塚市立図書館に出向き、予約日に選書。	飯塚市立飯塚図書館
	26	第4回司書部会 冬の研修会 I ■マニュアル改訂/その他 マニュアル改訂作業。年度初め・年度末業務の見直し及び展示・掲示の方法について議論。その他、令和7年度は、飯塚市立図書館が改装のため休館になるので説明会を実施。	飯塚市立飯塚東小学校
1	30	第3回司書部会 役員会 ■司書部冬の研修会 II /図書館運営マニュアル編集/その他 来年度に向けて話し合い。	飯塚市立飯塚東小学校
2	3	第5回司書部会 冬の研修会 II ■図書館ナノシステム説明会/マニュアル改訂/県幹事輪番/ その他 年度末業務と来年度に向けての話し合い。他に貸出返却ソフトとして使用中のナノシステムについて、使用以来10年以上経過していたが、その後の更新説明会がなかったので、システム開発者による説明会を実施。特に、変更点などを洗いあげてもらった。県SLAの幹事について、輪番制の改訂を実施。職級の境をなくして、平等に順番に職務を遂行するとした。	飯塚市立小中一貫校 幸袋校
3	4・5	3学期団体貸出図書返却 各学校で回収した本を飯塚市立図書館へ返却。	飯塚市立飯塚図書館
	19	第2回理事会及び司書部役員会 ■役員引継ぎ等 飯塚市学校図書館協議会を中心に引継ぎ。	飯塚市立小中一貫校 穂波東校

飯塚市「家読（うちどく）」の取り組みについて

令和7年9月

1. 飯塚市における「うちどく」のこれまでの流れ

飯塚市における「うちどく」の取り組みは、平成29年8月より始まり、小学校を対象に毎年行われてきた。「うちどく」とは、「家族ふれあい読書」「家庭読書」の略語であり、家庭で家族と一緒に同じ本を読み、感想を語り合い、時間や物語を共有してコミュニケーションをとることを目的とした活動のことである。

生涯学習課より、校長会を通じて各学校へと依頼があり、学校や学校図書館で学校図書館教育担当教諭及び学校司書が協働して取り組みに当たっている。県の補助事業を活用し、各小学校へ「うちどく」に関する消耗品費の予算が計上されており、飯塚市立図書館が作成した「うちどくおすすめ本リスト」や「うちどくビンゴカード」なども各学校へ送付され、活用を推進されている。

令和5年度からは対象が中学校1年生に広がり、チラシやポスター掲示、飯塚市立図書館からの「うちどくおすすめ本リスト」の配布を行っている。

これまでの飯塚市各学校の主な取り組み

- ・うちどくのチラシ、うちどくだより、おすすめ本リストの配布
- ・うちどくカード、うちどくノート、読書通帳等の実施
- ・うちどく用図書セット貸し出し、読書ビンゴの実施 等

各校「NO 電子メディア」や「家庭の日」などと連携させての取り組みを考え、実践を行っている。

2. 令和6年度飯塚市学校図書館における「うちどく」の取り組み

令和6年度に配布された生涯学習課からの依頼文書には下記のように記されている。

1. 目 的 発達段階に応じた読書活動の取り組みを段階的・継続的に実施することで読書習慣の定着と学校・家庭・地域における読書環境の充実を図る。
2. 対 象 小学校は原則として各小学校の全学年 中学校は各中学校の1年生
3. 実施期間 小学校は原則として夏休み～11月末日まで 中学校は夏休み前
4. 実施方法 小学校は学校裁量 中学校はおすすめ本リスト(チラシ)を配布

令和6年度生涯学習課から配布されたポスターとリスト



3. 大分小学校での「うちどく」の取り組み

飯塚市立大分小学校 児童数 172 人

学級数 7 クラス（うち特別支援学級を含む）

目的

「うちどく」は、「学校での朝の読書」の習慣を家族で実践すること。「家での読書＝うちどく」家族全員で1冊の本を読む以外ルールは一切なく、発達に応じた読書活動の取り組みを段階的・継続的に実施することで読書習慣の定着と、学校・家庭・地域における読書環境の充実を図る。

方法

実施期間：令和6年10月14日～参加希望家庭終了まで

対象学年：全学年

手順1 起案文書を作成し、教職員に周知する。

手順2 「図書だより」で、参加家庭を募集する。

手順3 参加希望のあった家庭に、順番を決めて「家読」セットを貸し出す。

《セット内容》

◎「うちどくノート」ファイル

うちどくノートはトーハンうちどく（家読）HPよりダウンロードして使用

https://www.tohan.jp/wp/wpcontent/themes/tohan/pdf/uchidoku_note.pdf

◎「家読リスト」（図1）

◎各学年に合わせた内容の本3冊

これらをうちどく用のバッグ（図2）に入れて貸し出す。



図1 家読リスト



図2 家読セット

手順4 「うちどくノート」には任意の感想欄があり、図書返却と一緒にノートを一旦回収し今後の参考にする。

手順5 回収後、ファイルごと児童に渡し、各家庭での継続をお願いしている。

結果

「うちどく」についての保護者アンケートでは肯定的な意見が多くみられたが、『学校でして下さい。小さい子もいるので大変です。もう少し各家庭のことも考えて下さい。帰ってきてから、宿題もたくさんあって、「一緒に読む」は本当にめいわくです。』という回答もあった。『お子さんに絵本を読んでもらい、それを聞いてあげるのも「うちどく」になります。』と図書だよりで提案し、高学年のセットにも絵本を1冊入れるようにした。子どもは参加したが、家庭によっては難しいところもある、ということを感じている。

4. 片島小学校での「うちどく」の取り組み

飯塚市立片島小学校 児童数 474 人
学級数 20 クラス（うち特別支援学級を含む）

目的

本校の「うちどく」の取り組みは、就学前からの家庭読書や読み聞かせの実態調査のため、1年生を対象に行っている。「うちどく」を通して読書習慣を定着させること、家族のコミュニケーションを図ることにより、児童が心身ともに安心した学校生活を送ることを目的としている。「うちどく」の方法としては、保護者が読書する姿を児童に見せることで1人読みへの移行につながると考え、同じ本を各自で読んで家族で話をする、家族間で読み聞かせを行うということにしている。本の選書については絵本とし、児童の自主性や本への興味を深めるため児童自身が行うようにした。使用する本は家庭の本でも構わないとしている。

方法

実施期間 令和6年10月16日～11月1日

対象学年 1年生（66人）

- 手順1 起案文書を作成し、教職員に周知する。
- 手順2 「わかくさ図書館おすすめ絵本100冊」コーナーを設置。
取り組みで使用するリスト、家読カードを作成する。
- 手順3 図書の時間に取り組みの説明と貸出を行う。
- 手順4 担任を通して、「わかくさ図書館おすすめ絵本100冊」の
リストと生涯学習課から配布される「家読しよう！」の
チラシ、家読カードを家庭へ配布する。
- 手順5 家読カードに児童が書名や方法等、保護者からは感想を
記入してもらい、担任を通して回収する。
- 手順6 図書館だよりで保護者からの感想を紹介し、家読カード
を家庭へ返却する。



図1 児童が本を選ぶ様子



図2 児童が本を選ぶ様子

結果

- 貸出冊数も増加し、家庭で読んだ本を友達と薦め合う様子が見られた。
- 「うちどく」の方法をいくつか試してそれぞれの家庭のペースで取り組みを進めることができた。
- 児童から保護者への読み聞かせを行う家庭が多く、選書の仕方や音読の様子などから保護者は児童の成長を感じたようであった。
- リストの中に幼児向けの絵本を入れることで、普段の家庭読書の流れを自然に取り入れることができ、また保護者が幼少期の頃の思い出の絵本と一緒に読み返し話しをするなど、家庭読書の温かさが伝わった。
- 児童が読み聞かせボランティアの方に読んでもらった本を選書し、家族に読み聞かせるなど、学校行事からの読書の広がりがみられた。
- うちどくカードから参加した家庭の様子は受け取れたが、カードの回収率の低さが課題であり、多様化する家族の形を踏まえ、どのような家庭でも取り組みやすい方法を考えていく必要がある。

家読カードの様子から、「うちどく」は選書をする段階から始まっており、児童の取り組みへの思いや意図が感じられた。その事から、児童の読書に対する自主性や本への興味、読書習慣の定着につながった。読書を通して家族のコミュニケーションや信頼を育み、互いをゆっくりと見つめることができる取り組みとして、今後も続けて行きたい。

5. これまで「うちどく」に取り組んだ家庭や児童からの感想

（飯塚市内で「うちどく」の取り組みを行った学校に届いた感想の中から、家庭からの感想を中心に抽出。原文のまま）

家庭からの感想

- 家族で同じ本を読むことはあっても感想を言いあうことはあまりないので、こういう感想を持ったんだと子どもたちの感性を知る機会になってすごくよかったです。「うちどく」のあとはあたたかい気持ちで過ごせました。
- 本を読み終えるとあらすじやおもしろかった場面など話をしてくれました。「うちどく」の中に絵本も入っていたので久しぶりに読み聞かせをしました。「うちどく」の取り組みが終わっても時々読み聞かせをしたり同じ本を読んだりして本のおもしろさを共有したいと思います。
- 保護者も勤務で忙しかったり子供は塾に行ったりですれ違いの毎日の中、共に本を読む時間を作ることは大切だと思います。昔に比べて家庭生活も核家族世帯が多い中、愛を持って子供に関わる時間が減っているため自己肯定感を持ち素直に育つことが出来ない環境が増えているのではないかな。いろんな面で教育の大切さが問われる時代になっていると感じます。
- 全員で本を読んで感想を伝え合うのは初めてで良い機会になりました。
- 物語になると少し長いのでお互い静かに集中して読み、終わった後に感想を伝え合いました。クイズの本は息子が私に「お母さんは大人だから分かるよね～」と得意気に問題を出してくれました。知らないこともたくさんあり、親子で学ぶことができました。親子の会話もたくさん増え家読に取り組めてよかったです。
- 子どもの方がしっかりとコメントを書いていたのでびっくりしました。きちんと読んでいますね。また「うちどく」に参加したいと思います。ありがとうございました。
- 初めは本の方を向かなかったですが、読み進めるうちに顔が本の方を向き体も近づいてきました。今、横で私が書いているところも見ています。距離が近づきとてもよい時間にできました。
- つい、テレビ等で時間をつぶしがちなのでみんなで本を読む時間は貴重だった。1年生の妹も少しむずかしいと言いつつも興味を持ったようでよく聞いていた。自分で子供が興味を持つ本を選ぶのは難しいのでこういう機会に参加できてよかった。
- 学校でしてください。小さい子もいるので大変です。もう少し各家庭のことも考えてください。帰って来てから宿題もたくさんあって「一緒に読む」は本当にめいわくです。
- 仕事が忙しい時は読む暇がない。

児童からの感想

- おうちでお母さんと本をいっしょによんでみたらすごくおもしろかったしのしかったです。
- いままでしなかったことをすることができました。

6. 「うちどく」の現状と今後

「うちどく」の現状

飯塚市の「うちどく」の実践校として、小学校2校の取り組み例を紹介したが、その他の小中学校でもそれぞれ「うちどく」の取り組みを行っている。（取り組みの重複あり）

R6年度各学校の取り組み

取り組み	学校名
うちどくビンゴ	八木山小、幸袋小、高田小
うちどくノート	飯塚小、飯塚鎮西小、伊岐須小、庄内小、若菜小
ポスター掲示、チラシ配布	鯉田小、颯田小、八木山小、穂波東小、飯塚東小、飯塚小、飯塚鎮西小、内野小、幸袋小、棕本小、高田小、伊岐須小、立岩小、庄内小、菰田小、上穂波小、若菜小
	筑穂中、飯塚第一中、二瀬中、飯塚鎮西中、庄内中、穂波東中、飯塚第二中、穂波西中、颯田中、幸袋中
うちどくコーナー設置	菰田小、飯塚東小、高田小、立岩小
スタンプラリー	鯉田小、飯塚東小、立岩小、庄内小
読書通帳	颯田小、内野小
うちどく用貸出セット	穂波東小、鯉田小、上穂波小
おすすめ本リスト	飯塚鎮西小、伊岐須小、庄内小、菰田小、若菜小
その他（上記以外の取り組み）	鯉田小、伊岐須小、立岩小、飯塚東小、颯田小

飯塚市では、教育委員会・市立図書館・学校が連携し、「うちどく」の取り組みを推進している。家庭での読書を通して親子のコミュニケーションを深めることを目的としているが、アンケートの感想からも分かるように、家庭の状況によっては実践が難しい場合もある。こうした背景を踏まえ、柔軟な形で「うちどく」を広げていくことも必要である。

また、子どもたちを取り巻く環境としても、スマートフォンやゲームなど電子メディアの普及に加え、中学生は学習や部活動で多忙なため、読書の時間を確保しにくい状況にある。家庭においても、家族間の会話が減り、同じ空間にいながらそれぞれに過ごすことが増えているのが現状である。

こうした中で、「うちどく」を広げていくためには、各家庭の実情に配慮した取り組みを行い、「うちどく」の意義やメリットを理解してもらいながら、無理のない範囲で継続できるよう支援していくことが重要である。

「うちどく」の今後

小学校から取り組んできた「うちどく」を中学校でも引き続き実践していくことが大切であると考え、今年度、ある中学校では夏休みの図書貸し出しに合わせて、市立図書館作成の「R7 うちどくおすすめの本リスト」に掲載された本を展示し、チラシとともに配布した。

今後も「うちどく」を通して、子どもと保護者の双方に本を手にする機会を提供し、読書を通じた家庭でのつながりを支えていきたい。

行政・学校・図書館・家庭が連携しながら、「うちどく」の輪をさらに広げていけることを願っている。

令和6年度 筑豊地区高等学校司書部会 事業報告

年月日	事業名	場所	内 容
R6.5.20	総会	田川高校	・新役員挨拶 ・令和5年度事業報告 ・令和6年度事業計画 ・諸連絡
R6.6.20	生徒図書委員 夏期合同研修会 準備会	田川高校	・研修会当日の日程の詳細確認。 ・各校役割分担の詳細確認。 ・研修会当日の注意事項について説明。 ・研修会要録作成について説明。
R6.7.24	令和6年度第67回 筑豊地区高等学校 生徒図書委員 夏期合同研修会	コミュニティのおがた	（研修会日程） 13：30～13：40 開会式・オリエンテーション 13：40～14：00 レクリエーション「ジャンケンで関所やぶり」 14：00～14：10 休憩 14：10～15：20 ビブリオバトル筑豊2024 1回戦・2回戦 15：20～15：30 休憩 15：30～16：00 ビブリオバトル筑豊2024決勝・投票 16：00～16：15 アンケート回答・決勝戦投票結果集計 16：15～16：30 表彰式・閉会式・解散 （ビブリオバトル筑豊2024） 参加生徒56人 1回戦：3ブロック12班に分かれてバトル。 2回戦：各班の勝者12人がブロックごとにバトル。 決勝戦：各ブロック勝者3人でバトル。 1位：鞍手高校2年生 （『く+時軒>のアリスから「台所のラジオ」』吉田篤弘 著） 2位：嘉穂東高校3年生 （『モカシン靴のシンデレラ』中沢新一 著） 3位：鞍手高校3年生 （『滅びの前のシャングリラ』風良ゆう 著）
R6.8.6	司書部夏期研修会	田川高校	1. 図書委員夏期合同研修会の反省（アンケート結果考察・意見交換） 2. 次年度の合同研修会のあり方について 3. 各校からの質問事項（事前に集約し、当日紙での回答を依頼した。） ①新入生オリエンテーションの実施方法 ②文化祭での図書委員会企画について ③貸出不可にしている資料について ④マンガの貸出を行っているか？ ⑤合同研修会について、生徒にはどのように声掛けしているか？ 4. その他（当日の質問事項） ①図書館だよりをグーグルクラスルームで配信している学校はあるか？ ②図書館だよりを生徒に作らせている学校はあるか？
R6.12.4	司書部冬期研修会	田川高校	1. 定期監査報告（嘉穂・嘉穂東・直方） 2. 事前にお問い合わせした質疑事項について ①研究委員会の負担の少ないあり方とは ②各校のレファレンス事情について ・生徒に「こんな本ありますか？」と聞かれた時にお薦めする本について ➡ほんわかできる本・泣ける本・おすすめの恋愛本・ミステリー本 サクッと読めて、面白い本 ・実際に受けたレファレンスについて 3. その他 「朝読書」・「定期購入雑誌」についてのアンケート結果（鞍手竜徳高校より） 4. 諸連絡

令和6（2025）年度
筑後地区高等学校図書館協議会司書部会 事業報告

月 日	事業名	場所	参加者数	内 容
5月17日(金)	総会	久留米 リサーチパーク	28名	新・転任者紹介 県司書部会幹事より報告 各研究班代表より活動報告 各研究班で活動内容協議
7月24日(水)	司書部幹事会 (合研と並行)	久留米 シティプラザ	7名	地区司書研修会の内容検討
11月27日(水)	地区司書部 研修会	久留米 リサーチパーク	25名	講演「著作権について～学校図書館で留意 すべきこと」県立図書館 森弘成氏 オリエンテーションについてグループ討議 (ワールドカフェ方式)

令和6（2025）年度
筑後地区高等学校図書館協議会司書部会 研究班報告

月 日	研究班	場所	内 容
7月30日(火)	図書館活性研究班	久留米筑水高校	実践発表「図書館アプローチ大作戦」の練習
12月17日(火)	//	//	//
8月23日(金)	図書資料研究班	久留米高校	生徒の読書傾向、リクエスト、購入可否の基準について
12月5日(木)	//	南筑高校	生徒の読書傾向、漫画の取扱、実践発表について
8月22日(木)	事務マニュアル研究班	福島高校	学校図書館行事についての検討
12月23日(月)	//	大牟田北高校	学校図書館行事について各校事例の検討、各校読書傾向について

令和6年度 福岡地区司書部会 事業報告

月 日	事業名	場所	参加者数	内容
5月16日(木)	総会	柏陵高校	41名	旧役員退任、新役員紹介 令和5年度 事業報告および決算報告 令和6年度 事業計画および予算案 班別研究
7月26日(金)	第1回研修会	福岡中央高校	42名	諸会議・諸行事報告 講演「銀河鉄道の夜活版印刷活字解説」 文林堂 山田善之 氏 ワークショップ活版体験 班別研究 おすすめ本の紹介「今年初めて出会った本」
12月24日(火)	第2回研修会	香椎高校	40名	諸会議・諸行事報告 香椎高校図書館見学 班別研究 講演「不寛容の時代」を考える 障害者殺傷事件やヘイトスピーチを題材に神戸金史 おすすめ本の紹介「6類」
3月24日(月)	第3回研修会	福岡中央高校	42名	諸会議・諸行事報告 次年度役員について おすすめ本の紹介「社会問題を自分ごとに考えるきっかけ」 講演「セーフアースペース」読書会ハナイ 班別研究及び班別研究発表

令和6年度 福岡地区司書部会 班別研究会報告

月 日	班名	場所	内容
3月24日(月)	これからの学校図書館研究班	福岡中央高等学校 図書館	「図書館イベント企画の実践と年間反省」
10月3日(木)	展示研究班	香椎高校	「香椎高校図書館の展示・レイアウトについて見学及び意見交換 その他」
1月26日(火)	ブックセレクト班	中村学園女子高等学校 図書館	「選書アプリの評価と選書に関するアンケート内容についての協議」
10月4日(金)	図書館業務研究班	コミセンわじろ 第2会議室C	「図書設備の実態調査内容の検討確認アンケート項目作成と司書業務見える化について」
10月8日(火)	図書館情報研究班	福岡講倫館高等学校	「図書館のイベント・広報・情報発信について」

北九州地区司書部会活動報告(2024年度)

2025.9.17 福岡県司書部総会:アミカス

◇ 北九州地区司書部会:県立高校29校・市立高校1校・私立高校1校

◇ 2024.4.23:北九州地区高等学校SLA総会(小倉リーセントホテル)

・2023年度活動報告

・役員選出:地区幹事・県役員・県司書部役員

・プチ司書部会:新転任者紹介等

◇ 2024.7.26:北九州地区夏期生徒図書委(部)員合同研修会(リモート Webex)

・参加者:図書委員 62 名・職員 46 名(ルール作成・進行・画面操作等を主に司書が担当)

・主な内容:ビブリオバトル・POPコンクール

◇ 2024.8.6:北九州地区司書部総会および研修会(コンプレート堺町)

・講演「学校図書館と著作権」(福岡県立図書館 森弘成 氏)

・研究班経過報告および本年度の活動方針決定

・グループ討議:地区別

◇ 2025.2.13:北九州地区研究会(ウエルとばた)

・研究班活動報告

北九州地区司書部研究班

☆ 学校図書館のしごと研究班

初任者への研修等を実施 学校図書館のしごとを広く研究

☆ テーマ別図書展示研究班

広報・展示活動用にテーマに沿った本をリストアップ

☆ プレゼンテーション研究班

魅力的な図書館をつくるための実践的活動

☆ 図書館イベント研究班

利用者に喜んでもらえるイベントの研究

フレゼンテーション研究班活動報告 2025

2025.9 福岡県司書部総会:アミカス



◇メンバー：小倉・戸畑・八幡地区の高校司書8名

本年度の研究テーマ	〈本の世界地図〉作成 ・白地図のそれぞれ舞台になっている場所の上に、本の表紙をマッピング 『BOOK TRIP』シン“本でめぐる世界”：カスタム ver.
研究内容	本の表紙を地図上にマッピングすることで、舞台となっている国や地域をビジュアル化。本で世界から異世界まで“トリップ”する展示を提案
活動日程	◆11/21（☆ムーブ）：ブックリスト・地図等の試案作成・概要を検討 ◆12/23（☆ムーブ）：ブックリスト・地図等の決定稿作成・役割分担 ◆2/13（ウェルとばた）：北九州地区研究会で完成資料を各校に配布 ☆ 北九州市立男女共同参画センター ムーブ4F グループ活動室2
研究成果	かなり前、同様の“本の世界地図”を作成したが、その時から本を一新。 【宇宙】【異世界】を追加することで、時代にあった《シン》地図に進化。 また本の表紙をシールにすることで、展示する際、自校の蔵書に合わせて、カスタマイズが可能になった。  各校1部 展示セットを配布
備考	今年度は新たなメンバーも増え、対面で研修を行えたのがよかった。県の共有ファイルを活用することで、ブックリストの編集等、効率よく行えた。



☆ ロビーに〈BOOK TRIP〉の見本を展示しています。

ご自由にご覧ください。